



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ライスカレー 上場取引所 東
 コード番号 195A URL https://ricecurry.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大久保 遼
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 大南 洋右 (TEL) 03(6684)2373
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 617 | — | 26 | — | 24 | — | 21 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 21百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 ー百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 7.76 | 7.61 |
| 2024年3月期第1四半期 | — | — |

- 当社は、2024年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減比率及び2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減比率は記載しておりません。
- 2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は前第1四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 1,993 | 1,073 | 53.8 |
| 2024年3月期 | 1,794 | 751 | 41.8 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,072百万円 2024年3月期 751百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,841 | 19.6 | 320 | 264.8 | 319 | 257.2 | 269 | 145.1 | 92.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年3月期1Q | 2,968,590株 | 2024年3月期 | 2,739,090株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 一株 | 2024年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年3月期1Q | 2,771,875株 | 2024年3月期1Q | 一株 |

（注）2024年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費者物価の緩やかな上昇などを受け、足踏みがみられるものの緩やかな景気の回復を見せております。しかしながら、世界経済については、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、引き続き経済動向の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは当社（株式会社ライスカレー）及び連結子会社1社（株式会社RiLi）により構成されており、インターネットコミュニティ領域において事業を展開しています。インターネットコミュニティ領域とはSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）をはじめとしたインターネットのアプリケーションやサービスを通じて共通の関心分野、価値観や目的を持った利用者が集まって持続的に相互作用する場を指します。

当社グループが事業を展開するインターネットコミュニティ領域においては、個人の滞在時間が大幅な増加傾向にあります。総務省情報通信政策研究所の「令和5年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」によると、全年代で平日、休日ともにインターネット利用の平均時間が増加しており、インターネットの利用項目別では「動画投稿・共有サービスを見る」や「ソーシャルメディアを見る・書く」といったインターネットコミュニティ領域に、多くの時間が配分されたと報告されました。

また、それに伴い、財・サービスの提供者である企業は、この変化に適応するため、広告資源のインターネット領域への配分を拡大させています。さらに、従来は消費者であった個人が、供給者側に回る例（CtoC）も、個人の利用が可能なECプラットフォーム等の発展により拡大しています。

当社グループは、上記二つの大きなトレンドを踏まえ、消費者が今後より一層インターネットコミュニティ領域の中での消費行動を拡大していくと考え、コミュニティデータを起点として経済の場を生み出す、コミュニティデータプラットフォーム事業を展開しております。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高617,727千円、売上総利益349,995千円、営業利益26,421千円、経常利益24,842千円、親会社株主に帰属する四半期純利益21,500千円となりました。

なお、当社グループは「コミュニティデータプラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。また、2024年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期比等の比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,293,898千円となり、前連結会計年度末に比べ189,797千円増加しました。これは主に、現金及び預金が206,781千円増加し、売掛金が25,558千円減少したこと等によるものであります。固定資産は684,276千円となり、前連結会計年度末に比べ6,491千円減少しました。これは、主にのれんが9,659千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、1,993,177千円となり、前連結会計年度末に比べ198,308千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、505,266千円となり、前連結会計年度末に比べ85,103千円減少しました。これは主に、買掛金が36,875千円減少したこと等によるものであります。固定負債は414,729千円となり、前連結会計年度末に比べ37,907千円減少しました。これは、主に長期借入金が37,582千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、919,995千円となり、前連結会計年度末に比べ123,011千円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,073,181千円となり、前連結会計年度末に比べ321,319千円増加しました。これは主に、上場に伴う新株発行により資本金が149,909千円、資本剰余金が149,909千円それぞれ増加したこと、及び、親会社株主に帰属する四半期純利益21,500千円の計上があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想については、2024年6月19日に公表いたしました予想から変更ありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 638,054 | 844,835 |
| 売掛金 | 256,353 | 230,794 |
| 商品 | 181,872 | 184,860 |
| 仕掛品 | 367 | 1,474 |
| 貯蔵品 | 1,739 | 1,765 |
| 前払費用 | 16,846 | 17,617 |
| その他 | 9,616 | 13,238 |
| 貸倒引当金 | △749 | △687 |
| 流動資産合計 | 1,104,100 | 1,293,898 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,282 | 14,282 |
| 減価償却累計額 | △3,749 | △4,063 |
| 建物及び構築物(純額) | 10,532 | 10,218 |
| 工具、器具及び備品 | 6,633 | 6,778 |
| 減価償却累計額 | △4,104 | △4,404 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 2,528 | 2,373 |
| リース資産 | 5,800 | 5,800 |
| 減価償却累計額 | △2,320 | △2,609 |
| リース資産(純額) | 3,480 | 3,190 |
| その他 | 899 | 899 |
| 減価償却累計額 | △858 | △884 |
| その他(純額) | 41 | 15 |
| 有形固定資産合計 | 16,582 | 15,798 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 496,695 | 487,035 |
| ソフトウェア | 50,981 | 50,091 |
| ソフトウェア仮勘定 | 2,856 | 6,565 |
| 無形固定資産合計 | 550,532 | 543,692 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金 | 41,597 | 41,259 |
| 繰延税金資産 | 69,799 | 71,792 |
| その他 | 12,255 | 11,733 |
| 投資その他の資産合計 | 123,653 | 124,785 |
| 固定資産合計 | 690,768 | 684,276 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | — | 15,002 |
| 繰延資産合計 | — | 15,002 |
| 資産合計 | 1,794,869 | 1,993,177 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 115,442 | 78,566 |
| 未払金 | 72,703 | 70,604 |
| 未払費用 | 57,537 | 70,272 |
| 短期借入金 | 75,000 | 56,250 |
| リース債務 | 1,269 | 1,282 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 156,828 | 154,828 |
| 未払法人税等 | 820 | 8,675 |
| 未払消費税等 | 68,403 | 31,034 |
| 賞与引当金 | 24,819 | 15,986 |
| その他 | 17,547 | 17,765 |
| 流動負債合計 | 590,369 | 505,266 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 449,816 | 412,234 |
| リース債務 | 2,821 | 2,495 |
| 固定負債合計 | 452,637 | 414,729 |
| 負債合計 | 1,043,006 | 919,995 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 249,909 |
| 資本剰余金 | 662,956 | 812,866 |
| 利益剰余金 | △11,949 | 9,551 |
| 株主資本合計 | 751,007 | 1,072,326 |
| 新株予約権 | 855 | 855 |
| 純資産合計 | 751,862 | 1,073,181 |
| 負債純資産合計 | 1,794,869 | 1,993,177 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 617,727 |
| 売上原価 | 267,732 |
| 売上総利益 | 349,995 |
| 販売費及び一般管理費 | 323,573 |
| 営業利益 | 26,421 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 0 |
| 受取手数料 | 1,008 |
| 受取出向料 | 840 |
| その他 | 99 |
| 営業外収益合計 | 1,948 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 2,886 |
| 為替差損 | 83 |
| 株式交付費償却 | 429 |
| その他 | 128 |
| 営業外費用合計 | 3,528 |
| 経常利益 | 24,842 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,842 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,334 |
| 法人税等調整額 | △1,992 |
| 法人税等合計 | 3,341 |
| 四半期純利益 | 21,500 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 21,500 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|---|
| 四半期純利益 | 21,500 |
| 四半期包括利益 | 21,500 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 21,500 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月19日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場しました。この上場にあたり2024年6月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式229,500株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ149,909千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が249,909千円、資本剰余金が812,866千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、コミュニティデータプラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---------|---|
| 減価償却費 | 4,899千円 |
| のれんの償却額 | 9,659千円 |

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年8月14日

株式会社ライスカレー

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴谷 哲朗

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 横山 雄一

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社ライスカレーの2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
2 XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。